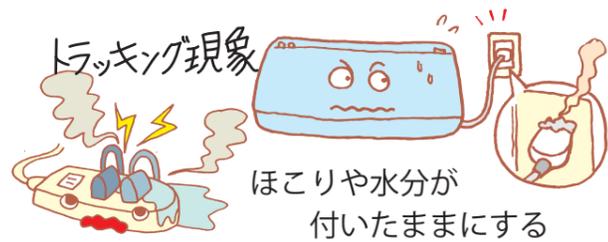
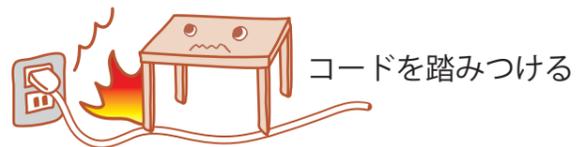
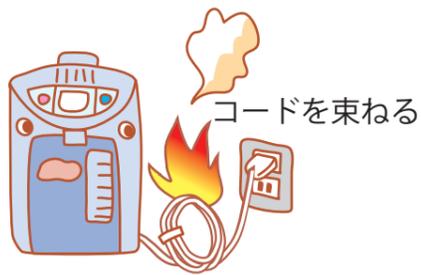


コードや配線器具の事故が多発しています！

こんな使い方をしていますか？



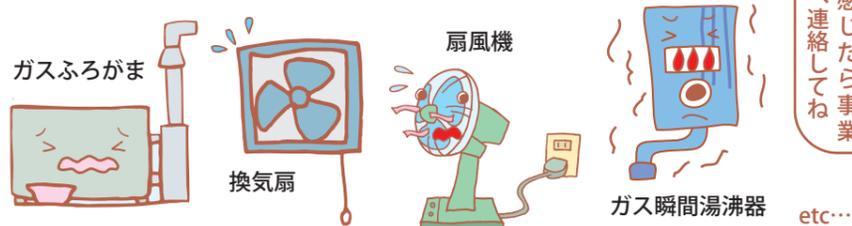
古い製品を使い続けていませんか？

長く使用している製品で事故が発生しています

電気製品や燃焼機器などは、長期間使用しているうちに熱や湿気、ほこりなどの影響により、部品が劣化して発煙や発火のおそれがあります。

変なおいや音、いつもと違うと感じたら…
使用を中止して、事業者や販売店に相談してください。

新しい製品には、さまざまな保護装置が搭載されています。
買い替えも事故防止策のひとつです。



高齢者に多い こんな事故

気をつけて！ ちょっとした不注意にご用心！



コードや配線器具は
正しく使ってください。
裏の注意事項を見てね。



事故 ナイト いいね



【ガスこんろ】 火に近づき過ぎて衣服に着火

事例

ガスこんろ周辺を焼く火災が発生し、1人が死亡した。(80歳代女性 2011年1月 千葉県)

原因

調理中、衣服に火が燃え移ったため、火災に至ったものです。



肉眼で見た炎



赤外線カメラで見た炎

肉眼で見える炎(左)に比べ、赤外線カメラで見た実際の炎(右)は鍋底から大きくはみ出しています。



- ・こんろに近づき過ぎないでください。こんろの奥に手を伸ばすときは、火を消してください。
- ・毛足の長いものやゆったりと垂れ下がったデザインの衣服は特に注意してください。

【ガスこんろ】 火を消し忘れて火災

事例

ガスこんろ周辺を焼く火災が発生した。(70歳代女性 2013年6月 三重県)

原因

天ぷらを調理した後、火を消し忘れたためです。



火をつけたら絶対にその場を離れないでください。調理後は必ず火が消えているか確認してください。

- ・調理油過熱防止装置などの保護装置のついた製品に買い替えるのも事故防止策のひとつです。



【ガス栓】

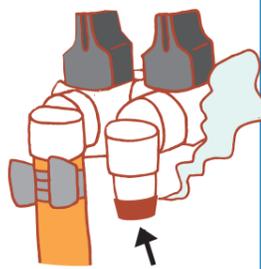
未使用のガス栓を開いて火災

事例

ガスこんろを使用中、こんろとその周辺を焼く火災が発生した。(70歳代女性 2012年5月 兵庫県)

原因

使っていない側のガス栓を誤って開いたため、保護キャップに生じていたひび割れ部分からガスが漏れたものです。



保護キャップ



- ・ガス機器が接続されていないガス栓を開かないよう注意してください。
- ・使用していない側には誤開放を防止する「ガス栓カバー」を取り付けましょう。
- ・購入時についている保護キャップはガス漏れ防止用ではありません。

【暖房便座】

使用中に低温やけど

事例

暖房便座に30分ほど座っていたら、低温やけどを負った。(60歳代女性 2011年1月 広島県)

原因

便座の上に長時間座っていたためです。温度は「低温」より少し高く設定されていました。



低温やけどに注意!



- ・高齢者や体の不自由な人、介護が必要な人などが使用するときは、取扱説明書とおりに「低」や「切」に調節して、低温やけどに注意してください。
- ・糖尿病などでは、熱さを感じにくくなることがあるため、特に気をつけてください。

【介護ベッド用手すり】

すき間に挟まれて死亡

事例

介護ベッドと手すりのすき間に首を挟まれて死亡した。(90歳以上女性 2013年3月 大阪府)

原因

ベッドの頭側ついた部分と手すりのすき間に首が挟まったものです。安全対策として使用するすき間をふさぐための部品を装着していませんでした。



すき間



- ・頭や首、手足などがサイドレールや手すりのすき間に挟まれないよう、すき間をふさぐ部品を装着してください。
- ・現在販売されている手すりは、改正されたJIS規格によって安全性が強化されています。取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

【踏み台】

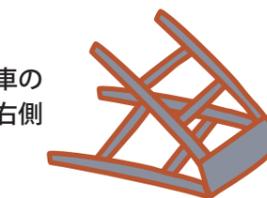
バランスを崩して落下

事例

踏み台の天板上に乗って自動車の屋根を拭いていたところ、右側に転倒し、重傷を負った。(80歳代男性 2012年10月 千葉県)

原因

バランスを崩して転倒したものです。



- ・天板に立つときは、バランスをくずれないように注意してください。身を乗り出して作業するのも危険です。
- ・踏み台は水平なところに設置してください。

【歩行補助車】

曲がろうとして転倒

事例

家の人に腰を支えてもらいながら歩行補助車を押し、左に曲がろうとしたら転倒して重傷を負った。(80歳代女性 2011年10月 京都府)

原因

歩行の際に介助者が必要で、歩行補助車の使用は無理な状況でした。表示にも「手すりなどつかまり歩きをする人には適していない」という旨の記載がありました。



- ・歩行補助車は、主に自立歩行が可能な人を対象としています。無理に使用すると転倒して骨折するおそれがあります。
- ・使用中に本体が折り畳まれないように、ロックレバーで必ず固定してください。

【電動車いす】

運転を誤って死亡

事例

ハンドル形電動車いすで走行中、斜面に転落して死亡した。(60歳代男性 2011年6月 島根県)

原因

未舗装の砂利道で運転操作を誤ったものです。



- ・電動車いすの操作ミスによる事故が多く発生しています。特に使い始めは、十分に練習を行ってから運転してください。
- ・坂道や路肩、濡れた路面などには注意してください。
- ・走行時には、バッテリーの残量を確認し、遠出の際は100%充電状態にしてください。